



2025年6月29日 教皇フランシスコ追悼ミサ

75周年を迎える南山教会

主任司祭 ビジュー キシャケール

今年の教会の信徒全集会が終わり、多くの方々が参加してくださったことに感謝いたします。聖ペトロ 聖パウロ使徒祝日ミサの中で、一つの共同体として皆さんとともに教皇フランシスコのための追悼の祈りも捧げることができました。これからの天国から私たちを導いてくださいますように。

さて、今年75周年を迎えている南山教会ですが、そのお祝いは12月21日に予定されています。これから、数回にわたって75周年に向けて幾つかの行事を予定しています。当教会出身である名古屋教区長松浦悟朗司教様の講演会を7月20日に予定しています。当日9時30分からのミサに続き、司教様の講演会となります。テーマは「私の信仰の旅の始まり、南山教会」です。

そして10月5日には、新潟教区長成井大介司教様の講演会を予定しています。テーマは「**神言会の特徴 諸文化の交わり**」です。多くの方々に参加していただきたいと思えます。

また、9月後半と11月に南山教会の75年間のあゆみの勉強会を開催予定です。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第4土曜日 午前10時30分 子供のミサ(ナザレ館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時
ゆるしの秘跡は各主日ミサ前に受けることができます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前4時30分聖体賛美式)
日曜日 午前8時・10時・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

祝初聖体 6月22日

使徒ヨハネ袴田茂太郎
ペトロ玉田聖
マリアテレジア伊藤花
カタリナラブレ村橋瑞
クララ市江寿々子



はつせい体をうけて

クララ 市江 寿々子

南山教会で6月22日にはつせい体を受けました。じゅんぴは4月からは長かんじましたが、

知らない子ともなかよくなれたのでよかったです。

おばあちゃん、おじいちゃんやいとこのかぞく、だいぼのお姉さんとまことおじさんもきてくれてうれしかったです。

はつせい体をうけたいと思ったりゆうは、パンをたべたいとききょうをうけていたからです。べんきょうをうけているうちにかみさまにもっと近づいたためだと思いうようにになりました。はじめて手にのせたパンは見た目は小さかったけど口に入れると大きくかんじました。

ミサのあいだはきんちようしましたがおわるとすこしホッとしました。パンをたべるたのしみがふえました。

洗礼と初聖体を受けて

伊藤 花

私は初聖体の前日に洗礼を受けました。榊原さんに代母をしてももらいました。マリアテレジアという洗礼名です。次の日に初聖体を受けました。

洗礼と初聖体を受けるために、トランさんからいろんなことを教えてもらいました。ねる前にお祈りをして、はげみ表に

シールをはりました。楽しかったです。お祈りが毎日の日課になりました。

初聖体のミサで、私は答唱詩へんとアレルヤ唱を歌いました。たくさん練習したので、きんちようせずに歌えました。

ビジュ神父様からご聖体をもらった時、うれしかったです。どんな味がするのかと思いましたが、味はしなかったです。これからは毎週のミサでご聖体をもらえるので楽しみです。

たくさんの人におめでどうつて言ってもらえて、うれしかったです。

伊藤リーダーやみなさん、たくさんじゅんぴしてくれてありがとうございました。

初聖体感想文 袴田 茂太郎

僕は、初聖体を受けることにより、パンを食べそれがミサで聖変化するのがどのようなものかを実感することができました。

ゆるしのひせきを受け、自分の欠点、日々の行いを改めて見つめ直すこともできました。そして何より、毎週行われる教会の大切さや、どのような人が、どのような思いで集つて

いるのが分かりました。僕は、色々な学校に転校し、そのたびに全校の前であいさつしてきました。なので、皆の前でろうとし、歌うには少しのきんちようは、ともなうものだと

思っていました。しかし、実際にろうとししてみると、想像を絶するきんちよう感により、むねがしめつけられるような思いをいたしました。その一方で、実際に

ろうとしたからこそ分かるようになったものも増えてきました。一度教会に行き、礼はいをするための練習についてやす時間。きんちように負けず、神の

教えを一つ一つ心をこめてろう読する神に対する深い愛情。これらのこともその内の一つです。なので僕は、これからはこ

れらのことを重視して生活していきたいです。

初聖体感想文

村橋 瑞

わたしは、初せいたいの前日に、告白室に入るときに、はじめてだったのでどきどきしました。けれども思ったより神父様と話すのが楽しかったです。

初せい体の日に着たのは、白いスカート、白いくつ下、白

ヴェール、白いくつ、青いリボンでした。わたしは、パンを作るためのぶどう酒を運びました。せきにんがある仕事で手がふるえました。ラムネみたいなあじだと思っていましたがじつさいには子どもせんべいみたいなあじでした。イエス様のお体をいただいでうれしかったです。わたしは、今回の初せい体をいただいでうれしかったです。わたしは、今回の初せい体を通してもう一度イエス様のことをしんじて生きていきたいと思えます。



ヨセフ会全体集会 5月21日



典礼一口メモ 香部屋の窓から 第83回 「典礼色」のお話の1

典礼委員長 新内飛鳥

この記事は3回目の掲載になります。初回から熱心に読んで下さっている方には「また？」とか「知ってるよ」と感じるかもしれません、はじめて読む方もいますし、この連載で扱う内容は大切なことですから、繰り返しお伝えすることがあります。ご容赦ください。私たちの典礼ではいくつかの色を使い分

けます。典礼歴で呼び分けられる季節（待降節や復活節など）や、その日その日の祝日や記念日ごとに色が決められます。その儀式的の意味に合わせ相応しい色を使います。どんなところに色を使うかと言うと、まずは司式者の祭服の色です。神父様を着ているカズラや共同司式で並んでいる神父様たちのストラのことで、そしてよく見るのは朗読台にかけるタペストリーや神言神学院などでは使っていない時の祭壇に被せておく祭壇カバーも、その日の典礼色に合わせて取り替えています。「使っていない時に使う物」これは面白い言い方です。教会では前の晩から次の日を意識して祝う習慣がありますから、もちろん、どの日も大切ですが、例えば主日（日曜日）を迎える土曜日などは「土曜日の晩の祈り」を「主日の前晩の祈り」としてささげます。その際、典礼色も翌日の色になります。季節の中でのことであれば年間第14土曜日も年間第15主日も同じ緑色です。ですから取り替えることもないのですが、そこに聖人の記念が訪

れたり、しかも殉教者とそうではない人を交互に祝うとなると緑を赤に替えて、次の日には白に替えてと、その週の当番の神学生は気の毒ですね。南山教会では司祭の祭服、朗読台のタペストリー、侍者のチングラム（腰ひも）を典礼に合わせて色を変えています。

現在日本国内で使われているスタンダードな典礼色は白、緑、赤、紫の4色です。それぞれの典礼色の表す意味と機会を次号に記載します。

ビジュ神父様霊名お祝い7月6日



“三位一体”についてのジャンボイント

川原 稔

●ただ一つの神の奥義

カトリック教会は、「三位一体」の神秘を信じています。これは、唯一の神が「父と子と聖霊」という三つの位格（ペルソナ）において永遠に存在する

という、キリスト教信仰の根幹です。人の理性を超えた奥義でありながらも、教会は聖書と聖伝に基づき、この真理を信じ、告白し、教えてきました。

■教会の教えと信条

ニケア・コンスタンティノール公会議は、三位一体の教義を明確に定式化しました。それに基づき、私たちは「信経」の中で「私は信じます、全能の父である神：子である神：聖霊を」と告白します。カトリック教会のカテキズム（要理）は、この教義が他のすべての信仰の土台であると教えています。

■神の関係と私たち

三位一体の神は、愛の交わりそのものです。父は御子を生み、御子は父を完全に愛し、聖

霊はその愛のきずなです。この愛の関係に招かれた私たちは、洗礼によって三位一体の名によつて神の子とされ、神との交わりに生きるよう招かれています。祈り、秘跡、そして教会生活を通して、この愛に応えることが求められています。

★神秘のうちに生きる
三位一体は理解し尽くせぬ神秘ですが、私たちの信仰と生活に深く関わっています。この神の愛の交わりに生きることが、信者にとつての喜びであり、使命です。唯一の神、三つの位格において永遠に生きておられる神を、私たちは礼拝し、賛美し、証ししてまいりましょう。

聖年ローマ巡礼記 大川 隆

南山教会の皆様より一足先に

聖年ローマ巡礼に行つてきました。新教皇レオ14世の一般謁見、4つの「聖なる扉」で祈り、コンクラーベが行われたシステイーナ礼拝堂見学、故フランシスコ教皇墓参りと恵みに満ちた巡礼になりました。サン・ピエトロ大聖堂で執り行われてい

たミサの入祭に「希望の巡礼

者」が歌われ思わずロザミマした。ローマ滞在中の6日間には、静かな教会や修道院で毎日ミサを捧げ、参加者が交代で先唱、朗読、オルガンなどの奉仕をしました。私は、南山教会でお借りした祭服をまとい6日間も侍者をしました。聖体拝領は、パンとぶどう酒の両形態でいただきました。25年に一度の聖年とあつて、世界中から毎日何万人もの巡礼者や観光客がローマを訪れどこも大混雑でした。一生に一度は行つてみたいと思つていたローマに聖年巡礼という形で訪れることができ、感謝と喜びにたえません。

6月18日 教皇レオ14世一般謁見、サン・ピエトロ大聖堂（聖なる扉①）

サンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂にてミサ（聖なる扉②）
故フランシスコ教皇墓参。



6月19日 聖ザビエルの右腕を収めるジェズ教会を訪問。ジェズ教会にてミサ。

6月20日 ラテラノ大聖堂にてミサ。ラテラノ大聖堂（聖なる扉③）

6月21日 菊地枢機卿の名義教会の聖ヨハネ・レオナルディ教会訪問。



レジオマリエ名古屋クリア

黙想会

荒川紀衣

6月21日レジオマリエ名古屋クリア黙想会を開催しました。講師は神言会ヤコブ・ライチャールニ神父様。講話は、マリア論など学問的な話が中心でした。私たちは直接イエスに語りかけることができませんが、仲介者を通してイエスに近づくのは、より謙遜な姿勢と言えます。神から恵みを頂くことは無償の賜物ですが、その恵みを守り、実らせるためには助けが必要である。そのためにマリアに助けを願うのです。神の恵みに忠実にあり続けるための謙遜な姿勢であり、より深く神に近づくための道であるのです。レジオの信心を深めるとても良い黙想会でした。



信者全体集会

6月22日



ワンポイントひらめき

秋元恭子

聖霊降臨祭の直前に二つの問題を経験しました。自分の心の中で、自分が正しいとの思いから、その人の考え、思いを顧みずはつきりと言ってしまう、それはその人を心の中で追い詰めることになる、と気付いたことがあります。

もう一つはやはり、考えの違いを感じたとき、その場では黙っていました。ある信頼する信仰の友に、私の意見を理解してもらいたくて分ち合った。その友は「その人の自由です。自由意志が与えられているから」と言われ、はっとしました。忘れていました「自由意志」

この二つの件で、私は人の自由意志を受け入れて、その人の自由意志を尊重することの大切さ、自分の思いを置いて受け止めたい、と意識しました。そして「霊の結ぶ実」は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。」(ガ

ラテヤ5・22・23)の中で私は、人の自由を受け入れるために、寛容と自制の賜物が必要であると聖霊のこの賜物を主に願いました。私に欠けているものでしたから。この賜物が聖霊の助けにより、自分を制し、人の自由意志を尊重しますように。それも「隣人を自分のように愛すること」を可能にするでしょう。

神に感謝!

インド ケララ州で起こったご聖体の中にイエス様の顔が現れた奇跡(ビジュ神父様の地元)



第4回小教区宣教司牧評議会

司祭団より

7月6日

1. 6月29日の教皇フランシスコ追悼ミサ共同合同ミサと信徒全体集会お疲れ様でした。12月21日9時30分から75周年記念ミサを

予定していますが、この記念ミサに向けて、南山教会出身の二人の司教様にもご協力いただき南山教会で一体になって進めていきます。7月20日と10月5日は教会出身司教様方のミサと講演会を予定

しています。7月20日は松浦司教様もお願いしてあります。そして10月5日は成井大介司教様にお願

いしてあります。400人近く収容可能な聖堂ですので、信徒の皆様

に、共同合同ミサとして司教様のミサに参加し、後の講演会を聞

いていただきたいと思っていますので評議会でもミサの一本化について検討をお願いします。

2. ミサ時間の変更について
現在の日曜日10時のミサを9時半に戻す方向で検討を進める。英語ミサと時間が被るため、英語ミサの開始時刻を調整したい。9時とか10時。同一敷地内で同時にミサを行えるかどうかを司教様にも確認します。次回評議会(8月)で話し合います。

3. 大聖堂の給湯室に香部屋用洗濯機を設置します。

4. 今年の秋に向けて防犯カメラの増設を検討します。現在教台ありますが、警備チーム(仮名)を作り運用についても強化していきたい。

5. 酷暑なので、熱中症対策で大聖堂の入口にウォーターサーバーの設置を検討します。別案として、災害対応ができる自動販売機の設置も検討します。

報告・連絡事項

1. 7/9予定確認(信徒代表)

7月13日教会周辺清掃・75周年誌会議、7月20日75周年記念松浦司教様講演会、7月27日バザー実行委員会、9月5日(金)マリア会例会、9月14日敬老会・ヨセフ会例会、9月21日教会美化・倉庫整理。

2. 教会の設備について(営繕委員会)

鐘楼に修繕については、信盛建築の調査にて、鐘楼の専門業者による修理が必要であるとの結論でしたが、その後司祭団により修理が完了いたしました。

ピジュ神父様を初め、司祭団の神父様により、教会敷地の樹木の剪定・伐採が進めていただいておりますが、高所作業が必要な箇所が多くある為、剪定業者の三樹園に

見積もりを取りました。桜の木について、他の樹の影響で枯れている枝がある。桜を大事に維持していくために伸びすぎた他の木の伐採や剪定を行い、また、その他の事故等を防ぐために2年かけて徐々に対策をしていく計画です。

3. 75周年記念巡礼旅行の催行確定について(信徒代表)

22名の参加申し込みがあり、催行が確定した。8月10日(日)にウラプランニングの中村さんと説明相談会を開催する予定。来られない場合はオンライン(ZOOM)での参加も可能です。

4. 75周年記念パイプオルガンコンサートについて(オルガン管理委員会)

11月8日(土)開催の75周年の演奏曲目のお知らせが届きました。オルガニストの会でポストター制作を始めています。当日は午後1時開場、1時30分から開演、プログラムは前半と後半にわけ、短い聖書の朗読も入れ、途中10分の休憩を設けます。3時頃に予定の曲は終了とし、短いアンコール曲と椎名氏の挨拶で演奏会は3時半には終了となります。

5. バザー準備について(バザー実行委員会)

出店が確定。牧野が池ブリーズバンドが聖年の歌「希望の巡礼者」の伴奏をしてくれる。ポストターを広く募集する。各会、食券の種類の確認と、価格と枚数を決定頂き事務所に届け出てください。

6. 炊き出しのお願い(社会委員)

毎月、炊き出しの奉仕をしてくださる方からお願いです。聖霊会が炊き出しの活動を撤退され、午後からの負担が増えたこと。特に炊き上がったご飯の移し替えなど力仕事の人手不足で困っております。

多くの信徒に知っていただけた炊き出しの内容

奇数月、第2、第3木曜日
偶数月、第3木曜日
午後1時から2時間くらいで男女年齢不問です。

カトリックだけではやっていけないのでプロテストタントのさし込み共生会と合同で行っており、それ以外にも多くの諸団体の協力の下に成り立っております。南山教会は月に2回ほど担当しておりますが、高齢の女性の方ばかりで行っており力仕事もあるので力仕事をいただける奉仕の方を募集しております。
聖霊修道会のシスター達も来ら

れなくなったのと、南山大学のボランティアグループもコロナ過で消滅してしまいました。

特に午後の部が人手不足です。

また、マリア会がミニバザーを行って献金を頂きました。ありがとうございます。

7. 平和旬間の取り組みについて (信徒代表・典礼委員会)

8月3日の第17回平和祈念の集いが開催される。多くの方々に参加してほしい。8月10日に布池教会で、8月11日に福井教会で平和旬間の行事とミサが開催される。戦後80年の節目の行事として、子どもも含め、大勢の参加に期待する。

南山教会は7月6日から5回に分けてロザリオの祈りを行っております。

8. その他

① 6月14日 13時〜布池地下ホールにて信徒使徒職大会が開催された。講師；ビスカルド篤子さん。テーマ、「喜びをもって、ともに生きる。」すべての信徒とつくる。教会と使徒職の未来
② 6月29日 14時〜江南教会にて一粒会の集いが開催された。岡崎教会主任司祭のモルク神父様の講話があった。80人〜100人程の方が集まりました。一粒会の為にお祈りをお願いします。

審議・相談事項

司祭団より1の提案を受け、6月29日の共同体合同ミサ時は大勢集まれて良かったという声も、評議員からもあった。これを踏まえ、司祭団の提案を検討した結果、75周年記念ミサに向けての教会出身の司教様方のミサと講演会の際の7月20日、10月5日、そして12月21日の全てのミサでは、多くの方々に参加していただけるように、8時と18時は行わず、9時30分のミサ一本化とすることを決定した。今後合同でのミサ時は駐車場についても空いているところは臨機応変に使えるようにしていきます。

敬老会について(信徒代表)

9月14日(日)9時30分ミサを日英ベトナム合同とする。十字架称賛の日にあたる。8時と18時ミサは行わず9時30分ミサに一本化する。後、教会学校・中高生会の歌。その後病者の塗油。記念品とコーヒーショップのチケット配付。75歳以上の対象者への案内ハガキの送付を榊原さんに依頼する。記念品は当日の急な出席に備えて5個余分に購入し、余ったら司祭館に寄贈する。

2. 教会美化・倉庫整理について (信徒代表)

9月21日(日)に行う。清掃区域

の分担と当日の道具準備については、ヨセフ会にお願いする。剪定は危険なため準備しない。雨天時はマリア館掃除。道具の準備は榊原さんに依頼する。美化に先立ち、昨年度と同様なやり方で倉庫整理を行う。7月中に処分予定のものに札をつける。8月中に内容を見ていただき、処分の可否を判断する。処分するものは、9月21日に中庭へ移動して昨年同様業者へ処分を依頼する。

3. ステラマリスと南山教会が無関係であることをWebで知らせることについて(信徒代表)

信者全体集會に寄せられたご意見への対応。検索すると、南山教会がステラマリスを公式に支援しているかのような書き込みがみられるが、実際は公式な支援をしていない。誤解を避けるために「カトリック南山教会は公式にステラマリスを行ってはいません」との文言をWeb上に配置する。

4. 手話の会の予算について(信徒代表)

信者全体集會に寄せられたご意見への対応。関係者に話を聞き、活動と合わない出費であれば、自粛を求める。1988年設立に設立された勉強会であり、ミサの手話奉仕の方々とは別グループであることから、要約筆記の会と合併する。

5. 無断駐車対策について(信徒代表)

信者全体集會に寄せられたご意見への対応。昨年度の評議会で議論した。その結果、門の閉鎖は行わないことになった。関係者以外立ち入り禁止の文言を今より厳しいものにし、しっかり見えるようにする。

6. 放送電源について(信徒代表)

信者全体集會に寄せられたご意見への対応。放送設備の適切な電源管理を信徒に呼びかける。また、放送を利用される方に対し、責任者の記名と注意書きの提示を行う。暑い状態で電源がつけっぱなしだと機器に負担がかかります。

7. 巡礼実行委員長の交代について(信徒代表)

小池委員長が巡礼に参加できないことが確定したため、神戸さんに委員長を引き受けていただく。

8. 75周年記念ポロシャツの作成について(信徒代表)

75周年の記念ロゴを入れたポロシャツを作成し、巡礼やバザーなどで着用してはどうか。デザインを示して購入希望を募り、応募があった人数分だけ作成して販売する。

せっかく、記念として作るなら価格を抑える意味でTシャツだったりバンダナだったりはどうかという意見が出ました。早急に価格など調査して進めます。

9・8月15日聖母被昇天ミサ後のBBQ(信徒代表)

8月15日17時からのミサ後にBBQを行う。買い出し、準備、調理は松浦が行う。当日焼く場面のお手伝いをいただける方がいらっしやったらお願いする。マリア館厨房に残っている飲料は利用させていただきます。

10・その他

行事予定表の訂正、被昇天祭の聖母行列は8月10日(日)9時30分のミサで行います。9月14日のミサは8時のミサは無く9時30分に一本化。次回、評議会は8月31日となります。(9月分)

各会報告

○典礼奉仕者の会

- ・6月22日初聖体のお子さんが典礼奉仕を担当。
- ・6月29日英語ミサとペトナム語ミサの方も一緒に典礼奉仕を担当。
- ・祭壇カバーをかけることになりました。作成くださった方に感謝。
- ・月に1度、中高生会・教会学校のお子さんが典礼奉仕を担当して

いきます。(次回7月13日)

- ・新たに朗読奉仕をされたい方に集まっていたら機会を設けます。詳細は追って教会のお知らせにて案内します。

○要約筆記の会

- ・6月29日(日)9時30分のミサと信徒全体集会で要約筆記を付けさせていただきました。要約筆記に関心のある方は事務所にお声かけをお願いします。募集中です。
- 中高生会
- 9月7日(日)のミサ後に行います。

○教会学校

- 6月22日(日)10時のミサで一人のお子様如初聖体を受けました。
- 6月21日(土)4人のお子様如初告解、1人のお子様洗礼を受けました。

○典礼委員会

- 7月20日(日)9時30分松浦司教様ミサと講演。8時、18時のミサは無し。
- 8月6日(水)平和の祈りを含むミサ 7時、8時15分に大鐘を鳴らします。(広島の被爆時刻)
- 8月9日(土)平和の祈りを含むミサ 7時、11時2分に大鐘を鳴らします。(長崎の被爆時刻)
- 8月10日(日)10時ミサ前に聖母被昇天祭
- 8月15日(金)17時、聖母被昇天祭

のミサ

8月より 毎月第一金曜日19時にはお休みです。また、それ以降の奉げていた初金のミサは10時に扱いについては司祭団で意識調査引越して毎週の金曜日ミサとを合流します。

8月中は、18時(主日)のミサ

次回 8月31日





6月22日 キリストの聖体の祭日



南山教会
創立75周年記念行事①
南山教会出身司教による記念ミサ・講演会
【私の信仰の旅の始まり、南山教会】



司式：松浦悟朗名古屋教区長
日時：7月20日(日) 9:30
(多言語ミサ-日本語・英語・
ベトナム語-となります)



教会美化 6月8日



教会学校種まき 6月15日



初聖体のお祝い 6月22日

「この世に私のものは一つもない」
フランシスコ教皇

この世のすべての愛する子どもたちへ。

私は今日、この人生を通り過ぎる者として、小さな告白を一つ遺したいと思います。

毎日、顔を洗い、身だしなみを整え、鏡の前に立って生きてきました。

その姿が「私」だと信じていました。

しかし、振り返れば、それはただの、一時的にまとう衣でした。

私たちはこの身体のために、時間を使い、お金を使い、愛情と情熱を注ぎます。

美しくありたい。老いたくない。病気になりたくない。

そして……死にたくないと願いながら。

ですが、結局この身体は、私の願いにかかわらず、太り、病み、老い、そして、静かに私から離れていきます。

この世で本当に「私のもの」と呼べるものは一つもありません。

愛する人も、子どもも、友人も、そしてこの肉体さえも。

すべては雲のように一時的に留まるだけの存在です。憎い縁も、美しい縁も、すべては私に与えられた人生の一部でした。

だから、避けられないなら抱きしめてください。

誰かがしなければならぬことなら、「私が先に」そう思って取り組んでください。

無理やりではなく、喜びの心で。

やらなければならないことがあるなら、先延ばしせず、今日、今すぐに行いましょう。

あなたの前にいる人に、あなたのすべての心を注いでください。

泣けば、解決するでしょうか。怒れば、良くなるでしょうか。争えば、勝てるでしょうか。

この世の出来事は、すべて、それぞれの流れに従っています。

私たちができるのは、その流れの中で少しの余白を与えることです。

少しの譲り合い。少しの思いやり。少しの控えめさ。それが誰かにとって温かな息抜きとなります。そして、その温もりが、世界を再び包み込む力となるのです。

今、私は旅立つ準備をしながら、この言葉を遺したいと思います。

「本当に、ありがとう」

私の人生に触れてくれたすべての人々へ。

すべての縁へ。そして、この美しい世界へ。

私と縁を結んでくれたすべての人々に、心から感謝します。

静かに振り返ると、この人生は、感謝に満ちた奇跡のような旅でした。

どうか、あなたの人生にも、このような静かな奇跡が訪れますように。

心からお祈りしながら、この手紙を終えます。

フランシスコ (1936～2025)



教皇レオ14世のための祈り
 神よ、様々な方法であなたの教会を養い、愛のうちに教会を治める、忠実な者たちの永遠の羊飼いよ。あなたがご自分の民の上に置かれたあなたのように、レオが、キリストに代わって、その羊飼いである群れを統べ、教理の教師として、神聖な礼拝の祭司として、そして治めることによつて彼らに仕える者として忠実であるように、私たちは祈ります。聖霊の一致のうちにあなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、私たちの主イエス・キリストによつて。アーメン

信者の消息

受洗 おめでとうございます

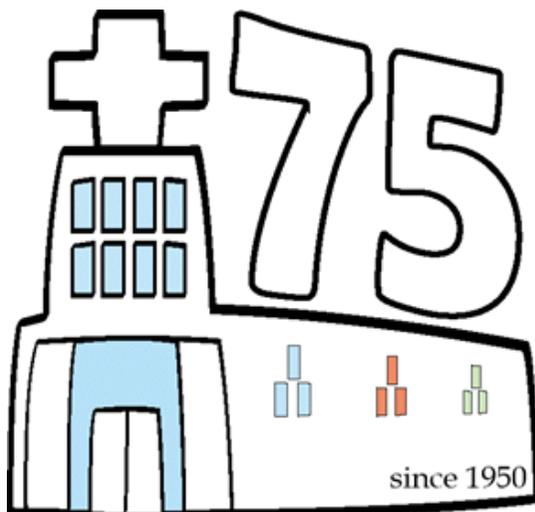
マリア・テレジア 伊藤 花
 ヨゼフ DUONG DANH HOANG BACH

転入 ようこそ

ヨセフ 原 英生 (守山教会)

転出 いつまでもお元気で

マリア・テレジア 松永 美智子 (守山教会)



2025年7月 - 8月行事予定表

| | 教会典礼暦 | 南山教会行事 | 各会活動 | 教区行事・その他 |
|----|-------------|---|--|--|
| 7月 | | 20(日)75周年記念 松浦司教特別講演会 | 4(金)マリア会例会(懇談会) 5(土)典礼委員会 6(日)小教区宣教司牧評議会 13(日)教会学校・中高生会終業式 20(日)ヨセフ会班長会 26(土)要約筆記付きミサ | 13(日)城東ブロック会議 19(土)レジオマリエ名古屋クリア |
| 8月 | 15(金)聖母の被昇天 | 6(水)平和の祈り 9(土)平和の祈り 10(日)聖母被昇天祭(聖母行列) | (土)典礼委員会・教会周辺清掃 23(土)要約筆記付きミサ 31(日)小教区宣教司牧評議会 | (1)~(1)教区中高生会 広島巡礼 (1)~(1)信徒協広島平和巡礼 (日)平和祈願ミサ 6(水)~15(金)平和旬間 |